

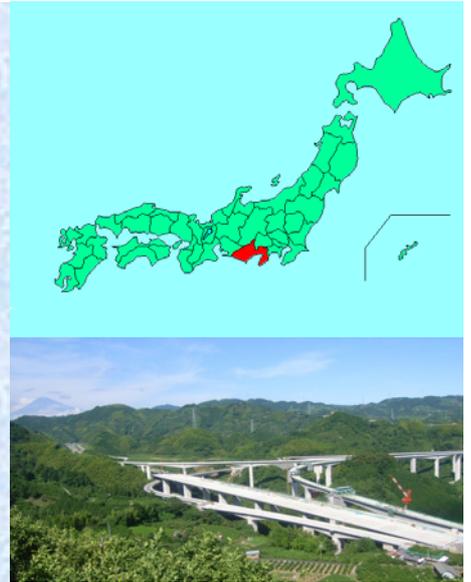


かみいさぶだいいちこうかきょう  
上伊佐布第一高架橋

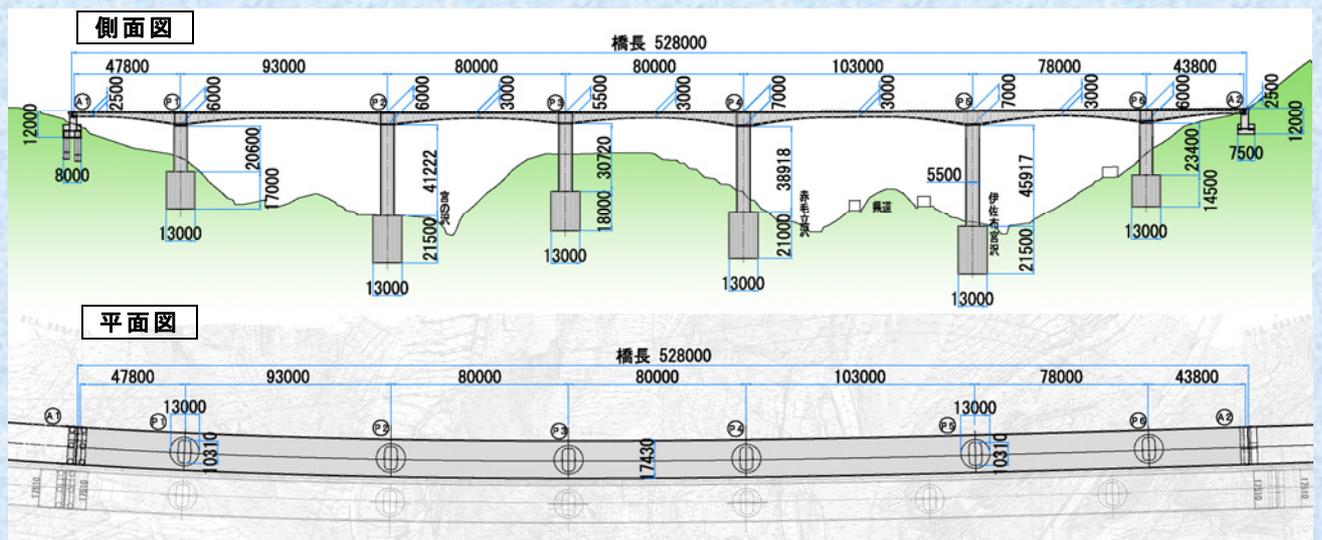
上伊佐布第一高架橋（仮称）は、第二東名高速道路の吉原JCT（仮称）に位置し、静岡市清水区に建設される橋梁です。架橋位置は、起伏の大きな山間部であるため、移動作業車による張出し架設が採用されました。

本工事は、第二東名高速道路の本線橋である7径間連続ラーメン箱桁橋とともに、清水連絡路（仮称）へのランプ橋として、Bランプ第三高架橋（仮称）、Bランプ第四高架橋（仮称）も併せて建設を行いました。

上伊佐布第一高架橋（本線橋）は、張出し床版にコンクリートストラットを配置した広幅員の1室箱桁とし、主桁断面の軽量化を図っております。



◆一般図



◆橋梁諸元（本線橋）

工事名：第二東名高速道路 上伊佐布第一高架橋（PC上部工）上り線工事

発注者：中日本高速道路株式会社

位置：静岡県静岡市清水区

道路規格：第1種第1級A規格

形式：PC7径間連続ラーメン箱桁橋

荷重：B活荷重

橋長：528m (47.8+93.0+80.0+80.0+103.0+78.0+43.8m)

総幅員：17.430m (有効幅員 16.500m)

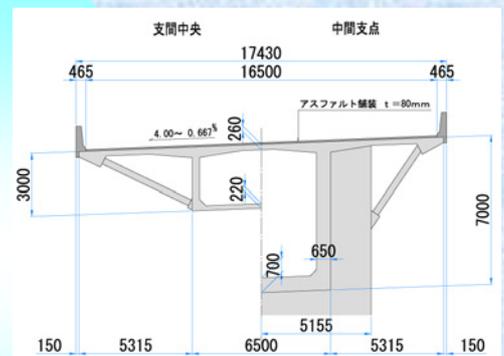
架設工法：張出し架設

PC鋼材：主鋼材 SWPR7B 12S15.2 (ディビダーク工法：内ケーブル)  
SWPR7B 19S15.2 (ディビダーク工法：外ケーブル)  
SWPR19 1S21.8、1S28.6 (SM工法：張出し先端鋼材)

床版横締め SWPR19 1S21.8 (SM工法：プレグラウト鋼材)

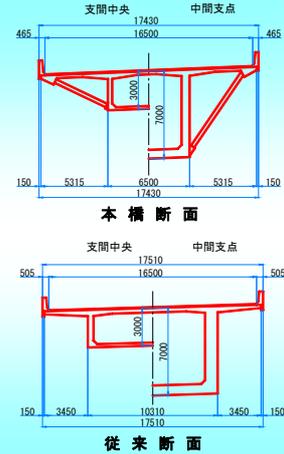
横桁横締め SWPR19 1S28.6 (SM工法：プレグラウト鋼材)

断面図



◆構造・施工概要

- 1) ストラット断面採用による主桁断面の軽量化  
 本橋は、張出し床版部にストラットを配置し、主桁幅を小さくすることで主桁断面の軽量化を図り、経済性を追求しています。  
 コンクリートストラットはプレキャスト部材であり、張出し施工時に据付を行い、主桁コンクリートと剛結されます。
- 2) 桁高変化に対応したストラット配置形状  
 本橋の桁高は、7.0m（柱頭部）から3.0m（支間中央部）まで変化し、ストラットは桁高変化に対応して、長さ・角度を変化させる構造としています。
- 3) 急峻な山間部・狭小な作業ヤードの中を張出し架設  
 起伏の大きな山間部の中にジャンクションを建設するため、橋脚が林立しています。  
 本橋の工事の他、下り線工事やランプ橋の工事が隣接しています。



張出し架設状況



工事全景



ストラット配置

◆工程表(本線橋)

項目	平成19年												平成20年												平成21年												平成22年												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
準備工・詳細設計																																																	
脚頭部施工																																																	
柱頭部施工																																																	
張出し架設																																																	
中央閉合																																																	
側径間																																																	
橋面工																																																	